

別紙様式 1

令和 5 年度両城中学校区研究推進計画

校番 20 呉市立港町小学校

校長名 畠 藤 晃

1 学校教育目標

「心豊かに 自立する」

2 目指す児童生徒像

- ・ 知識・技能を身に付け、日常生活に活用する子
- ・ 課題解決に向けて、論理的に考え表現する子
- ・ 自他を尊重し、お互いを認め合いながら主体的に学ぶ子

3 育成を目指す資質・能力（具体の姿）

資質・能力 設定した	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性
後期	各教科等において習得すべき知識や学び方・重要な概念（見方・考え方）等を確実に身に付け、日常生活に活用することができる。	日常生活や社会の中から課題を見付け、分析・比較するなどして多面的・多角的に考察することで解決を図り、根拠を明確にしてまとめ、表現できる。	意欲や志をもって、自らの夢の実現に向けて主体的に挑戦したり探究したりするとともに、自他を尊重し互いの考えや思いを大切に、認め合い支え合いながら協力して取り組むことができる。
中期		日常生活の中から課題を見付け、分析・比較するなどして解決方法を考え、根拠を明確にしてまとめ、表現できる。	自ら目標をもち、主体的に挑戦したり探究したりするとともに、自他を尊重し互いの考えや思いを大切に、認め合いながら協力して取り組むことができる。
前期		身の回りにあるものから自ら課題を見付け、比較したり関係付けたりする活動を通して、考えたことをまとめ、表現できる。	目標に向かって、進んで考えたり行動したりするとともに、お互いの意見を聞き合いながら、仲良く協力して取り組むことができる。

4 研究主題等

(1) 研究主題

自ら進んで学び合い、認め合う児童生徒の育成

～「自ら考え表現する授業づくり」と「自信を育む教育活動の充実」を通して～

(2) 設定理由（校区の児童生徒の課題分析等）

本中学校区では、平成 29 年度から「自ら考え表現する子」育成部会と「自他を大切にする子」育成部会の 2 部会に分かれ、各部会で前期、中期、後期に付けたい力を明確にし実践してきた。令和 2 年度、令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症の流行のため活動が制限されることも多かったが、令和 4 年度は、感染症対策に留意した上で全体研修会や研究授業、行事等を計画通り実施する

ことができた。

「自ら考え表現する子」育成部会では、課題発見・解決型学習の「二川授業スタイル」と深い習得を目指した「教えて考えさせる授業」を効果的に行うことで、学力向上に努めてきた。令和4年度は授業観察シートを改善し、「必要のある課題設定、問いの解決に向けた思考を促す発問、ICT機器の効果的な活用、話し合い活動や協働、自己調整につながる振り返り」の5点を3校で共通認識をもって取り組むことができた。その結果、研究授業における「主体的に学習し学びを深める授業づくりができたか」の視点において目標値を上回る等、生徒の主体的な学びの推進につながった。一方、学力調査の結果については、学年・学校間で差はあるものの、達成目標である「全国平均との差+5」を下回った教科・学年も多く、中学校区として十分な学力が定着したとは言えない。

「自他を大切にする子」育成部会では、3校共通の活動「縦割り班掃除」、「学校行事（運動会・体育大会・学習発表会・文化活動発表会）」の活動の充実に重点を置き、3校共通のカードで目標設定と振り返り活動を取り入れた。その結果、主体性・自己肯定感・相互理解・自己有用感の全項目において達成目標を大きく上回ることができた。

令和5年度も引き続き「自ら考え表現する子」育成部会と「自他を大切にする子」育成部会の2部会を編成し、中学校区で共通認識をもって小中一貫教育を進める。「自ら考え表現する子」育成部会では、引き続き各教科の見方・考え方を働かせた思考力・判断力・表現力の育成に取り組んでいくとともに、学力調査・結果分析から個に応じた支援につなげることで、児童生徒に確かな学力を定着させたい。「自他を大切にする子」育成部会では、引き続き仲間と共に主体的に取り組める場を設定していくことで、主体性・自己肯定感・相互理解・自己有用感をさらに高めていきたい。

(3) 各部会の研究主題及び研究仮説

部会名	「自ら考え表現する子」育成部会	「自他を大切にする子」育成部会
研究主題	主体的・対話的で深い学びにつながる単元づくり（二川授業スタイル・教えて考えさせる授業）を追究する取組を通じた学力の向上	自分のよさに気づき、自信をもって行動し、他者を思いやる態度の育成
研究仮説	単元の中で、「二川授業スタイル」と「教えて考えさせる授業」を効果的に行えば、児童生徒が主体的に学習し、学力を向上させることができるであろう。	児童生徒が目標達成にむけて自己の役割を明確にし、仲間と共に主体的に取り組める場を設定すれば、自己肯定感を高め、自信を育むことができるであろう。

5 研究内容

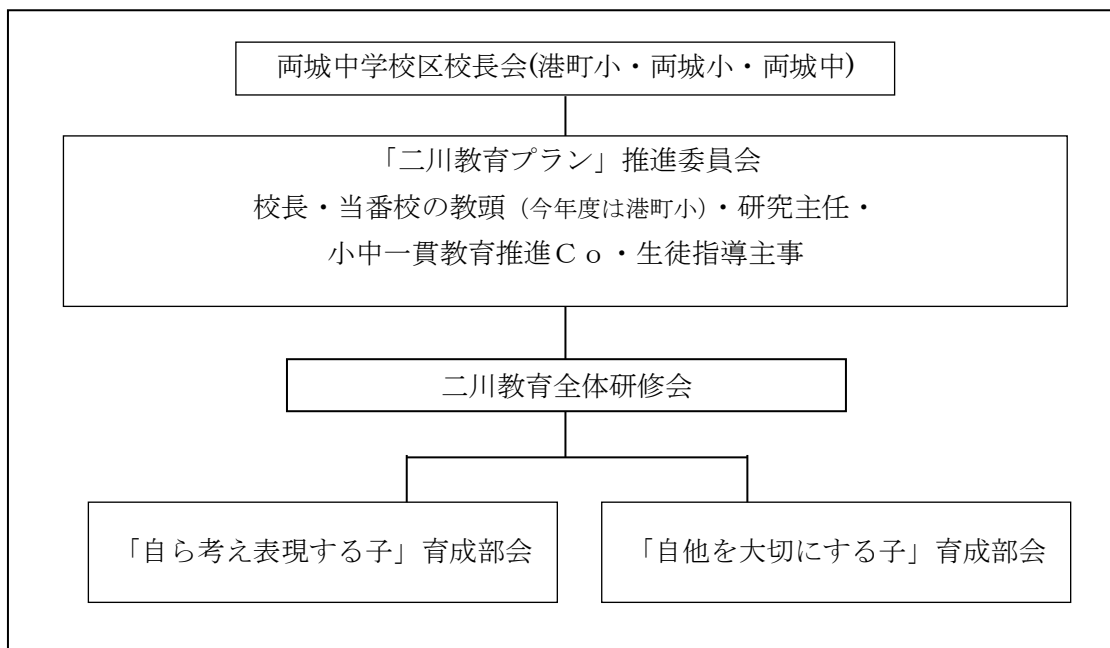
「自ら考え表現する子」 育成部会	「自他を大切にする子」 育成部会
<p>1 各教科・領域における主体的・対話的で深い学びにつながる単元づくり</p> <p><単元を通して付けたい力を明確化し、育成を目指す資質能力を設定し、効果的に「二川授業スタイル」と「教えて考えさせる授業」を組み込む。></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 二川授業スタイルの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・本時のゴールで目指す児童の姿を具体化 ・まとめから逆向き設計の授業設計 ・思考を促す発問の工夫 ・問いを生む切り返し発問の工夫 ・タブレット端末等ICTの効果的な活用 ・必然性のある対話の場の設定 ・視点のある振り返りの指導 ○ 教えて考えさせる授業 <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントを押さえた教師の説明 ・理解確認（ペアトークの指導） ・理解深化の充実 ・視点のある振り返りの指導 <p>2 授業研究会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 二川教育全体会のPDCAサイクル化 <p>3 カリキュラムマップの検討・改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 総合的な学習の時間等，小学校同学年同士の取組を検討，改善 ○ 地域と協働した防災の取組 	<p>1 主体的な活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日常的な自主活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・縦割り班そうじ ○ 学校行事の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・運動会・体育大会 ・学習発表会・文化活動発表会 <p>2 小中連携活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 二川クリーン活動（5年・7年） ○ 陸上教室（5年・6年・陸上部） ○ オープンスクール（6年）

6 検証について

検証の視点	方法	検証の指標	現状値	達成目標
① 主体的に学習し学びを深める授業づくりができたか。	授業観察シート	研究授業における教職員の相互評価値の平均（4段階評価）	+ 3. 6	3 以上
② 自己肯定感や他者を思いやる態度が育成できたか。	児童生徒アンケート	児童生徒の肯定的評価	9 6. 8 %	8 5 % 以上
	児童生徒の記述	自己の変容 他者からの学び	—	活動の前と後の自己の変容

③ 児童生徒の学力が向上したか。	標準学力調査	全国平均との差	+ 3. 1	+ 5
		前年度との差	+ 2. 9	+ 3

7 推進体制等
(1) 推進組織



(2) 一部教科担任制実施計画

ア 乗り入れ授業等 (中→小, 小→中)

(中→小)

小学校6学年 教科は未定 (2学期実施)

(小→中)

なし

イ 小学校教科担任制等

なし

8 推進計画

月 日	内容		
	港町小	両城小	両城中
4月18日(火)	「二川教育プラン」推進委員会 (16:00~) ○令和5年度 推進計画について ○第1回二川教育全体研修会に係る打合せ		
5月 2日(火)	第1回 二川教育全体研修会 (15:30~) ○本年度の方向性について確認 → 「二川教育プラン」推進委員会 (16:30~)		
6月~7月	授業研究(特別支援学級 総合)		授業研究(3年理科) 7/7(金)

7月 3日 (月)	第2回 二川教育全体研修会 (両城小5年 算数) 講師 広島文教大学 今崎浩教授		
7月 3日 (月)	児童生徒アンケート検証実施 ※7月14日までに当番校に結果報告		
8月 4日 (金)	第3回 二川教育全体研修会 (15:00~) ○取組内容の中間報告及び交流, 今後の取組内容の確認 → 「二川教育プラン」推進委員会 (16:30~)		
8月末	「自ら考え表現する子」育成部会 推進委員会 ○全国学力・学習状況調査の課題と改善計画について確認		
10月16日 (月) 10月23日 (月)	三校合同陸上練習 (マリンパーク・両城中学校)		
10月25日 (水)	第4回 二川教育全体研修会 (両城中2年英語 学びの変革) 講師		
10月~11月	地域公開 (10/13)	地域公開 (10/27)	地域公開 (11/2)
11月~12月	授業研究 (4年算数 学びの変革)	授業研究 (4年 学びの変革)	
10月13日 (金) 10月27日 (水)	両城中から港町小6年へ乗り入れ授業 両城中から両城小6年へ乗り入れ授業		
11月27日 (月)	二川クリーン活動 (5年生・7年生)		
12月中	児童生徒アンケート・標準学力調査 ※1月中に当番校に結果報告 →2月9日までに当番校より各校に結果報告をし, 次回の推進委員会までに各校で分析を行う。		
12月 3日 (日)	二川ロードレース大会		
1月30日 (火)	第5回 二川教育全体研修会 (港町小2年算数) 講師 広島文教大学 今崎浩教授		
1月~2月		授業研究 (2年)	
2月 5日 (月)	両城中学校オープンスクール 午後		
3月 4日 (月)	第6回 二川教育全体研修会 (15:30~) ○本年度の成果と課題, 来年度の方向性について協議 → 「二川教育プラン」推進委員会 (16:30~)		
3月21日 (木)	「二川教育プラン」推進委員会 (16:00~) ○令和6年度 推進計画について		

9 その他

(1) 3校校長会

「二川教育プラン」推進に係る協議

(2) 小中一貫教育「二川教育プラン」推進委員会

ア 「二川教育プラン」推進計画等立案

イ 小中合同研修会, 小中合同行事等の計画推進

ウ 各部会の成果と課題の分析

エ 地域・保護者への情報発信 (「小中一貫だより」発行 年3回)

担当 1学期: 港町小 (7月) 2学期: 両城中 (12月) 3学期: 両城小 (3月)

※ 研究構想図, カリキュラムマップを添付する。